

令和4年度

# みやぎ農泊シンポジウム

**「農泊×〇〇」～みやぎ型農泊を進めよう！**

農山漁村に宿泊してさまざまな体験を楽しむ「農泊」が注目を集めています。旅行とは一味違う農泊は、風景や自然、食材、体験プログラムなど、地域ごとに、また季節によって様々なカタチがあります。このシンポジウムでは、宮城の地域資源を農泊の切り口で編集し、宮城ならではの農泊の魅力について考えます。

**参加費  
無料**  
オンライン  
配信あり

**■開催日時****令和4年 11月16日(水) 14:30～17:00 (開場14:00)****■定員****会場 50名(先着順) / オンライン 30名程度****■会場****INTILAQ 東北イノベーションセンター 階段教室  
(仙台市若林区卸町2丁目9-1)****基調講演 国内外の事例から見る「農泊×ジオパーク」の可能性****高知大学 人文社会科学部 講師 新名 阿津子 氏**

1979年生まれ 高知県出身。2009年筑波大学大学院生命環境科学研究科修了、博士(理学)。専門は人文地理学、地誌学。研究テーマは、ジオパークによる持続可能な開発、持続可能な観光の理論と実践。責任ある旅行者の育成、ジオパークやジオツーリズムの研究を行う傍ら、環境教育やジオガイドなども行なっている。日本地理学会 ジオパーク対応委員会委員(2011年4月-2021年3月)、鳥海山・飛鳥ジオパーク推進協議会 外部研究員(2021年4月-)、日本ジオパーク委員会委員(2020年4月-)、ユネスコ現地審査員(2016年-)。

**事例紹介 & パネルディスカッション 「農泊×〇〇。あなたの地域の〇〇は？」****有限会社伊豆沼農産  
取締役 佐藤 裕美 氏**

有限会社伊豆沼農産は、渡り鳥飛来地として全国的に有名な伊豆沼のほとりにある農業生産法人。「農業を食業に変える」を昭和63年創業時からの基本コンセプトに据え、ハム・ソーセージの加工、レストラン、産直店、食農体験教室、都会の人と農村の人が交流する機会の創出など、様々な事業を展開している。

**鳴子温泉もりたびの会  
事務局 加賀 道 氏**

鳴子温泉もりたびの会は、地域の旅館や飲食店、林業家、クラフト関係者、教育関係者等からなる協議会。国民保養温泉地・栗駒国定公園内という立地を活かした「自然体験」、鳴子漆器や、鳴子こけしなど、自然豊かな環境が産んだ独自の「木工文化体験」、森林資源を活用したエネルギー循環を学ぶ「環境体験」などのプログラム提供を行っている。



\* パネルディスカッションのコーディネーターは新名氏が務め、会場の皆様との質疑応答の時間も設けます。

申込方法等、詳しくは裏面をご覧ください。

## ■タイムスケジュール

|                                      |                                                              |
|--------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 14:00～                               | 開場                                                           |
| 第1部（講演会）／INTILAQ東北イノベーションセンター 階段教室   |                                                              |
| 14:30～14:40                          | 主催者挨拶（宮城県農政部農山漁村なりわい課）                                       |
| 14:40～15:20                          | 基調講演（高知大学人文社会科学部 講師 新名 阿津子氏）                                 |
| 15:20～15:30                          | 休憩                                                           |
| 15:30～16:30                          | 事例紹介・パネルディスカッション（伊豆沼農産 取締役 佐藤 裕美氏、鳴子温泉もりたびの会 事務局 加賀 道氏）、質疑応答 |
| 16:30～16:50                          | 農泊に係る各種施策の紹介（宮城県農政部農山漁村なりわい課）                                |
| 16:50～17:00                          | 閉会・アンケート記入                                                   |
| 第2部（交流会）／INTILAQ東北イノベーションセンター クラブルーム |                                                              |
| 17:00～18:00                          | 名刺交換&交流会（希望者のみ）                                              |

■対象者 どなたでもご参加いただけます。

## ■会場案内

### INTILAQ東北イノベーションセンター

（住所：仙台市若林区卸町2-9-1）

\* 仙台市営地下鉄東西線「卸町駅」下車 北1出口より徒歩5分

\* お車でお越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用願います。



■申込方法 申込期限 **11月11日（金）** ※期日前でも定員になり次第、締め切ります。

お申し込みは、**googleフォーム（右記QRコード）** または下記

【お申込み・お問い合わせ先】まで**Eメール**か**FAX**で下記の事項をご連絡ください。

①お名前（ふりがな）②所属法人・団体等 ③電話番号 ④E-mail

⑤参加方法（リアル・オンライン）

※参加申し込みの際に取得した個人情報 は本事業以外の目的では使用いたしません。



## ■その他

- ・新型コロナウイルス感染拡大状況等に応じて、オンライン開催のみに変更になる場合があります。
  - ・講演会終了後、参加者や講師の皆様との親睦を深めるため、会場で簡単な交流会を予定しております。
- お申し込みは当日受付にて承ります。参加費は200円（現金のみ。ソフトドリンクつき）です。

## ■お申込み・お問い合わせ先

株式会社プロジェクト地域活性 〒984-0015 仙台市若林区卸町2-9-1 INTILAQ東北イノベーションセンター

TEL：022-349-4891 FAX：022-349-4892 Eメール：nohaku@prokatu.jp（担当：沼澤、笠間）

主催：宮城県農政部農山漁村なりわい課

※この事業は宮城県が株式会社プロジェクト地域活性に委託して実施するものです。

## ■みやぎ農泊シンポジウム 参加申込書

| 名前                 | ふりがな            | 参加方法 | リアル・オンライン |
|--------------------|-----------------|------|-----------|
|                    |                 |      |           |
| 所属法人・団体等           |                 |      |           |
| 連絡先<br>(電話番号・Eメール) | TEL<br><br>Eメール |      |           |



宮城県では、農泊や都市農村交流ビジネスに取り組む地域同士や支援者、関係団体、民間企業などとの広域的なネットワーク化を進めています。連携を促進するための交流の場として、「農山漁村交流拡大プラットフォーム」により、メーリングリストを活用して、オンライン交流会の開催や交付金の募集、研修の案内等、お役立ち情報の提供を行っています。詳しくは、<https://www.pref.miyagi.jp/site/nohaku/platform.html>（右記QRコード）をご覧ください。

